

5歳児（ゆり組）保育指導案

1 幼児の実態と教師の願い

2 期のねらいと内容（9月～10月）

- 共通の目的に向かって友達と力を合わせて取り組む中で、一緒に活動する喜びや充実感を味わう。
- 様々な運動遊びを通して友達と考えを認め合いながら、体を動かすことを楽しむ。
- 興味をもって自然に関わり、遊びに取り入れて楽しむ。
 - ・友達と同じ目的に向かって見通しをもって取り組んだり、工夫したりする。
 - ・友達と一緒に運動遊びを繰り返し楽しんだり、自分なりに挑戦したりする。
 - ・身近な自然に関心を持ち、自然物を遊びや生活に取り入れる楽しさを感じる。



3 週のねらいと内容（10月23日～10月27日）

- 自分なりの目的をもって取り組んだり、共通の目的に向かって友達と一緒に活動したりする充実感を味わう。
- 秋の自然に関心を持ち、遊びや生活の中に取り入れて楽しむ。
 - ・共通の目的に向かってイメージを共有し、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら遊びを進める。
 - ・友達と一緒に思いきり体を動かし、力を合わせたり、遊び方を考えたりしながら遊ぶ。
 - ・自然にふれる中で、木の葉や実、草花の特性を生かしながら遊びに取り入れる。

4 本日のねらいと指導計画

ねらい

- 友達と互いの考えを受け入れながら、遊びを進めていく充実感を味わう。
- 自分の考えを試したり友達と一緒に工夫したりする楽しさを味わいながら、様々な遊びに意欲的に取り組む。
- 自然に親しんで関わり、工夫したり試したりしながら遊びに取り入れることを楽しむ。

時刻	予想される幼児の生活・内容	指導の要点と環境構成
7:40	<p>○登園する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達と挨拶を交わす。 <p>○登園時の活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ち物の始末をする。 <p>○自ら選んだ遊びをする。</p> <p>体を動かして遊ぶ。  </p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボール等、友達と一緒に様々な運動遊びに取り組む中で、自分の力を試したり、友達の頑張る姿に刺激を受けて一緒に挑戦したりする。 ・自分たちが楽しみながらも、年少児も楽しく遊びに取り組めるような遊び方を考える。 ・同じ目的に向かって、自分の力を出したり、友達と応援し合ったりする心地よさを味わいながら、ドンジャンケン等の運動遊びを楽しむ。 	<p>○挨拶を交わす心地よさを味わいながら、安定した気持ちで生活を始められるように言葉をかけ、一人一人の健康状態やどのような思いをもって登園しているかを把握し、活動につなげていく。</p> <p>○幼児が工夫したり試したりしながら遊べるよう、幼児の興味や関心に応じた環境構成をする。</p> <p>○十分に体を動かして遊ぶことを楽しんだり、友達と考えを伝え合って遊びを進めたりできるよう関わり、爽快感や充実感が味わえるようにする。</p> <p>○友達の頑張る姿を伝え、励まそうとする気持ちを育む言葉をかける。</p> <p>○遊びの中で、自分の思いを言葉で伝えながら、友達や年少児と関わって遊ぶ楽しさを味わえるような言葉をかけていく。</p> <p>○幼児が頑張っているところや挑戦している姿を周りの幼児に伝え、友達のよいところを見つけたり、互いに認め合ったりする心地よさを感じられるよう関わっていく。必要に応じて幼児同士で話し合いができるような機会をつくる。</p>

リズム遊びをする。☀️🌂

- ・友達や年少児と一緒に動いたり、音楽やリズムに合わせて踊ったりすることを楽しむ。
- ・ポンポンや自分たちで作ったパラバルーンを使って、体を伸び伸びと動かす心地よさを味わいながら遊ぶ。
- ・踊りを見てもらうことに喜びを感じながら、ステージで伸び伸びと踊る。

秋の自然物を使って遊ぶ。☀️🌂

- ・友達のしていることに刺激を受け、自分も試そうとしたり、同じ目的をもって取り組んだりする中で、様々な感じ方にふれながら遊ぶ。
- ・木の葉や実、草花を使ってイメージしたものを作り、身に付けたり、作ったもので遊んだりしながら、友達とのやりとりを楽しむ。
- ・オナモミ、ドングリ等の自然物の感触を味わいながら、形や大きさ、特性を生かして遊ぶことを楽しむ。
- ・様々な素材や道具を使って、友達と考えながらコースを組んだり、木の実がどのように転がるか試したりしながら遊ぶ。

砂遊びをする。☀️

- ・木の葉や実、草花を見て感じたことを伝え合い、食べ物に見立てながらバーベキューごっこを楽しむ。
- ・友達と互いの考えを試しながら、大きな山や水路を作ることを楽しむ。
- ・友達や年少児と互いの考えを受け入れながら、一緒に必要な道具を考えたり、遊びの中の役割を楽しんだりする。

○体を伸び伸びと動かす気持ちよさや、音楽、リズムに合わせて体を動かす楽しさを味わいながら、友達や年少児とのつながりを感じられるよう関わっていく。

○体を動かす心地よさや爽快感を感じられるよう、幼児と一緒に環境を構成しながら教師もなかまの一員となり、楽しい気持ちに共感していく。

○友達や年少児とリズムを見せ合ったり、応援し合ったりして充実感をもって取り組んでいけるよう言葉をかける。

○草花、木の実や生き物に関わり、ふれて感じたことを伝え合う中で、命あるものの大切さを感じられるような言葉をかけていく。

○友達と一緒にしたい遊びやイメージに合わせて、園庭の環境や自然物を選んだり、工夫して遊びに取り入れたりできるよう幼児のアイデアを周りの幼児に伝えながら、友達とのつながりやなかま意識が感じられるように関わる。

○自然に親しみをもち、色や大きさ、形、数等、幼児が関心をもったことや不思議に感じたこと等、それぞれの幼児の感じ方や扱い方を認め、考えたことを試せる環境を構成していく。

○幼児が自分で考え、自然物を遊びに取り入れている姿を認めたり、必要に応じて友達に意識が向くような言葉をかけたりし、アイデアを伝え合ったり、工夫したりしていくおもしろさが味わえるよう援助する。

○友達と感じたことを伝え合いながら、互いの考え方のよさに気付けるよう言葉をかける。

○砂の特性を生かしながら、幼児がイメージを共有して楽しく遊べるよう、必要に応じて幼児の考えを友達と一緒に伝える。

○幼児が同じ考えや異なる考えを認め合う温かい雰囲気をつくっていく。

○来週の遊びに期待をもてるよう幼児と一緒に片付け方を考え、進んで片付ける姿を認める。

10:20	<p>○片付けをする。</p> <p>○降園時の活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・降園準備をする。 ・今日の活動を振り返ったり、月曜日からの生活に期待をもったりする。 	<p>○今日一日を振り返りながら、子どもたち一人一人の活動の姿を認め、友達とのつながりを感じられるような言葉をかけていく。</p>
11:00	<p>○降園する。</p>	<p>○幼児一人一人と気持ちを通わせながら挨拶し、来週からの生活に期待をもてるようにする。</p>
評価	<p>(幼児の育ちをとらえる視点)</p> <p>○幼児が自分の考えや思いを言葉で友達に伝えたり、互いの考えを認め合ったりしながら、遊びを進めていくことを楽しめていたか。</p> <p>○幼児が自分の力を十分に発揮したり、友達と一緒に考えたり試したりする心地よさを味わっていたか。</p> <p>○秋の自然に関わり、友達とイメージを共有しながら楽しんで遊びに取り入れていたか。</p> <p>(自らの保育を振り返る視点)</p> <p>○幼児が自信をもって自分の考えを伝えたり、友達の考えを受け入れようとしたりする姿を認め、互いの考え方のよさを感じられるような言葉がけができていたか。</p> <p>○幼児が自分の考えを試すことができるような環境を構成しながら、友達と考えを伝え合って遊びを進めていくおもしろさを味わえるような援助ができていたか。</p> <p>○友達と一緒にしたい遊びやイメージに合わせて、自然物を選んだり、試したりして遊びに取り入れられるような環境構成や関わりができていたか。</p>	